

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。

2021年1月以降、一部の銀行で紙の通帳の有料化が始まっています（有料化前からの口座保有者は除外されます）。



道内のある金融機関はその理由について『①デジタルサービスの普及によるお客さまの利便性向上と、②ペーパーレス化の推進によるサステナブル（持続可能）な社会づくりへの貢献を目的としており、紙通帳に代わる「スマートフォンアプリサービス〇〇」は引

き続き無料でご利用いただけます。』としています。

要は、人の手を介する「アナログ」作業は有料化、自分自身で考え行動する「デジタル」社会に向け準備がはじまったという事でしょう。

CMを見てもデジタル社会への対応を促す企業の広告が目立ちます。その根本にあるのは人手不足です。最近、道内でバスの運転手不足による減便が進んでいる事は皆さんもご存知でしょう。当然、バス運賃の値上げは避けられません。

他人ごとではなく、他の仕事でも「人の手間 = 高額」が当たり前になる時代が目の前に来ます・・・。

府が期待していましたが、第三次ベビーブームは幻に終わり、それから20数年後の令和5年の年間出生数は75万人です・・・。

ベビーブーム

ベビーブーム（Baby boom）は、一時的に新生児出生率（出生率）が急上昇する現象です。

わが国での第一次ベビーブーム（昭和22年から24年）では年間の出生数が250

万人を超えました。この期間に生まれた世代が団塊の世代と呼ばれています。第二次ベビーブーム（昭和46年から49年）では、

年間の出生数が200万人を超え、この期間に生まれた世代は団塊ジュニアと呼ばれます。

ベビーブームは20数年周期で起こるので2000年（平成12年）前後には・・・と政



幻の第三次ベビーブーム

その要因について、令和3年1月の参議院予算委員会で、坂本少子化担当大臣は、その当時の「①経済社会情勢により若者の経済的な不安定（長時間労働、就職氷河期）による。」つまり経済的事情。「②家事、育児の負担、子育てや教育に係る費用負担の重さ等の結婚や出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が絡み合った。」つまり、子供を安心して生める状況が整わなかった。という旨の答弁を行いました。

第三次ベビーブームが幻に終わった結果、将来の人手不足は回避不能となりました

た。そこで、政府はそれらを解決する方法として、デジタル社会への移行を目指すのです。

将来の銀行の風景

先日、ある銀行の本店役員のAさんと雑談をする機会がありました。



近い将来、銀行の店舗はホテルのフロントのようになると言います。

皆さんもご存知の通り、現在は銀行の窓口には数名のスタッフが座り、その後ろには2列ぐらいのスタッフが忙しそうに機敏に書類を手渡したり相談をしてとても活気があります。

それが、新しい銀行の店舗ではカウンターにスタッフ数人が並んでタブレットで預金者等に対応するようです。勿論、彼女たちの後ろのには大勢のスタッフはいません。預金者の顔や指紋で認証し、それに連動して必要なデータがタブレットにうつし出されます。



預金者とスタッフは必要な情報を互いにみながら相談します。現金はスタッフが手にする事は無く、ATM等の機械に飲み込まれます。まさに、人手不足をデジタル化で補うのです。

既に道外の銀行では次世代モデルの実証実験店があるようです。

融資の判断

では、私たち中小企業の生命線とも言える融資はどうなるのかと心配になりませんか？

A役員によると、AIが融資に関する基礎資料を作成する実験は行われているようです。仮に将来AIが融資判断する事になっても、実際に経営者と話したり、現場を見に行くことはできないので、財務状況など形式的な判断になる可能性があるようです。

従って、社長の熱い思いはAIには通じません。良い決算書(業績)、平均年齢が若い、技術力(他社との差別化)等の個性を備えていなければ融資を受けられない時代が来るかも知れません。



現状でも、支店長さんにお話しを聞くと各社にスコアが付され、点数が悪いと融資申請が本店から却下される言います。

総括すると、毎期の好決算、若い社員の雇用が進まない平凡な会社にAIが冷たい対応をする時代が来るかも知れません・・・。

くるしいことだってあるさ 人間だもの、まようときだってあるさ 凡夫だもの、あやまちだってあるよ おれだもの

「にんげんだもの」相田みつを

編集後記：

マクドナルドは2015年に「スマイル0円」を復活させました。お客様が店頭で「スマイル0円」と言うと、店員がカウンターで「笑顔」を向けてくれるようです。デリバリーサービスでは注文すると紙袋にスマイルやハートマークを書き込んでくれるようです。将来は「スマイル0円」もAIの笑顔になるのでしょうか・・・(寿)。